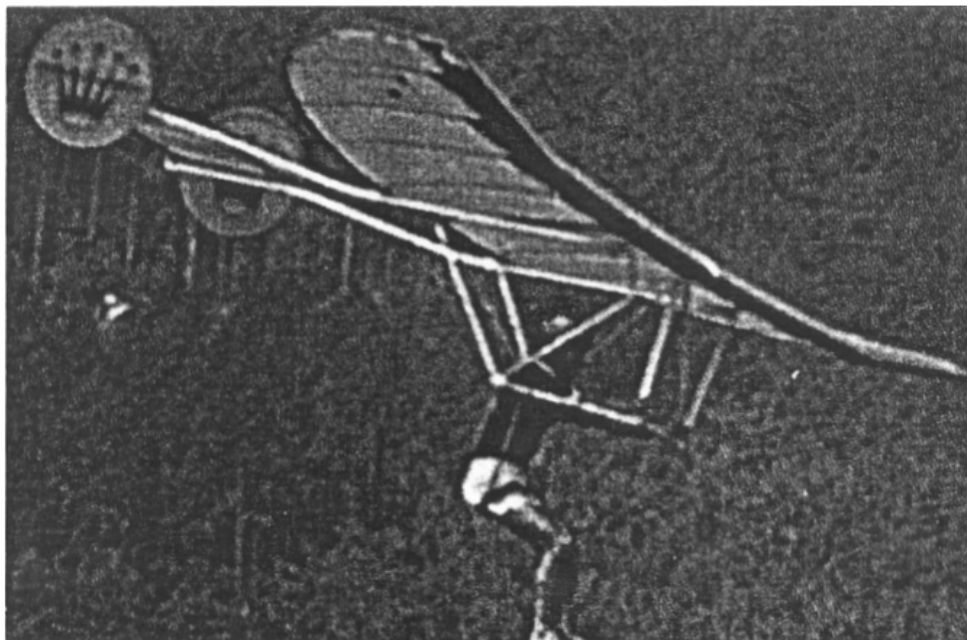


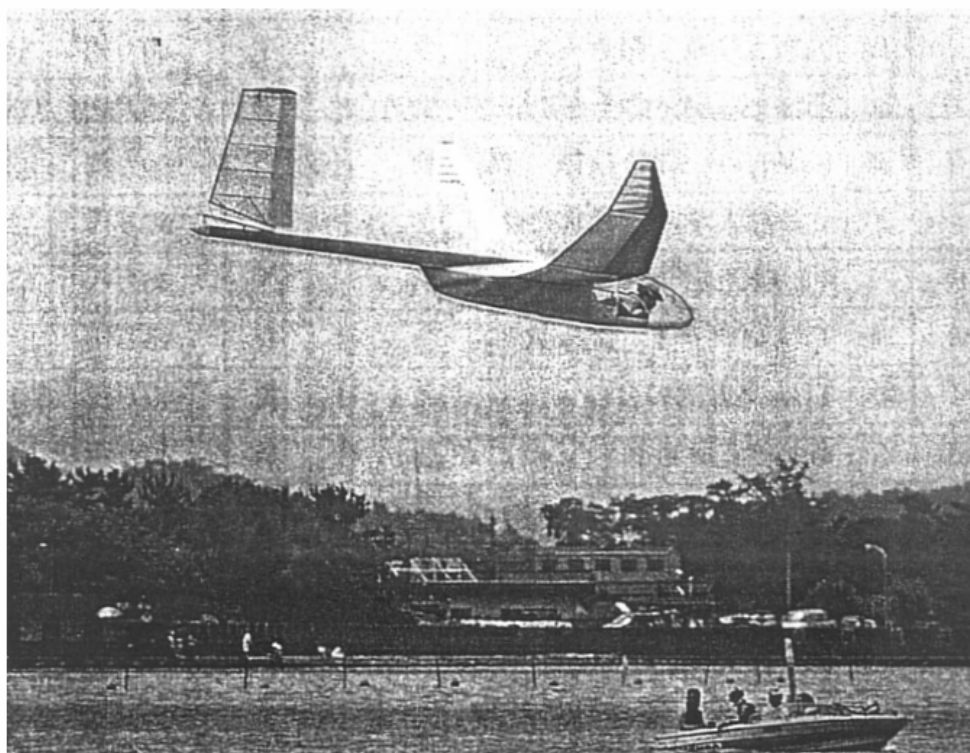
競技機の変遷〔滑空機部門〕

1977 ~ 2001

第一回大会 第一位 滑空距離 82.44 m


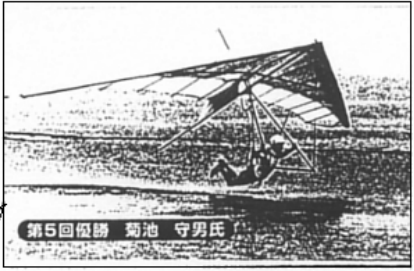
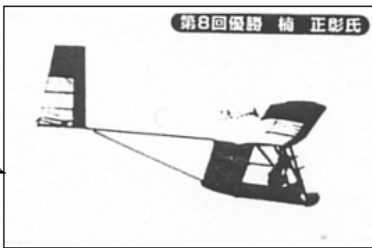
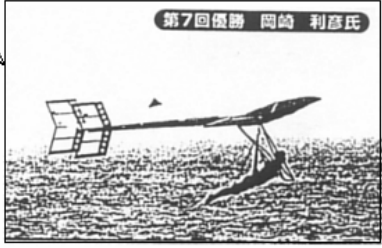




第25回大会 第一位 滑空距離 417.49 m



デザインの変化

大会に参加する機体のデザインを見ると、第1回大会から第7回大会の間は、第1回大会優勝機に模した「双胴、双ラダー機」が第1位を5回も占めている。第8回大会で初めてパイロットがキャノピ内に入る、通常型グライダー。第12回大会では美しいフォルムの無尾翼機が登場し、好成績を納めた。第14回以降現在に至る間は、高アスペクトレシオ翼の機体に定着している。

傾向	大会回数	機体写真
形態模索期	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
機種創造期	⑥	
	⑦	
	⑧	
	⑨	
	⑩	
形態定着期	⑪	
	⑫	
	⑬	
	⑭	
	⑮	
	⑯	
	⑰	
	⑱	
	⑲	
	⑳	
	㉑	
	㉒	
	㉓	
	㉔	
	㉕	